

『メールマガジン』

[RPF]

今回は今更ですがリサイクルクリーンで製造している「RPF」について簡単にご説明したいと思います。

「RPF」とは、主に産業系廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙及び廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料です。

RPFは固形燃料なので最終的には焼却し、何らかの形で熱利用することになります。その際、**金属類**や**ガラス、陶磁器**といった「燃えないごみ」はもちろんですが、「**塩化ビニール**」が含まれているビニール、プラスチック類もRPFには大敵です。

塩化ビニールは、焼却すると「**塩素ガス**」を発生させます。この塩素ガスは金属を腐食させる力が強い
ため、熱交換器に使われる金属製の細管や焼却炉の壁面にダメージを与え、莫大な費用をかけて作られた設備の耐用年数を大幅に縮めてしまうのです。

このため、ビニールやプラスチック類の受入れの際には、**事前に塩化ビニールが基準値以内**かどうかの
検査をするとともに、製造されたRPFについても定期的に検査をして、品質の保持を行っています。

RPFは、石油や石炭等の自然エネルギーの枯渇を防止するとともに、Co₂の発生を抑えるという優れた
代替燃料なのです。